



乗馬 馬しながら洞爺湖の景色と自然を楽しむことのできる、月浦にある「レイクトーヤランチ」の代表を務める高橋洋一さん。
出身は東京都ですが、両親



**地域おこし協力隊が
出会った素敵な人紹介**
洞爺湖の可能性に期待
「レイクトーヤランチ」
代表 **高橋 洋一 さん**
(月浦区)

の転勤で中学生の時に北海道に移住。
札幌の大学を卒業後、東京の会社に就職しましたが、2年後には北海道へと転勤になり再び北海道での生活が始まりました。
入社して10年が経った頃、仕事は順調に進んでいましたが、何か新しい事にチャレンジしたいという思いがつのり、当時職場の仲間と夢中になっていた乗馬クラブの会社を自分たちで立ち上げました。
もともと乗馬の経験はありませんでした。友人に誘われて乗馬クラブに行ったのがきっかけで、気づけば一人で通うほど夢中になっていました。

「こんなに面白いアクティビティが札幌近郊にないのはおかしい」と思い、馬の飼育方法などはほとんど分かりませんでした。その当時は変な自信があり、自分で乗馬クラブを始めたい」と話す高橋さん。
平成12年に乗馬クラブを運営するのに適している場所として小樽に「春香ホースランチ」を設立。続いて平成15年には景色に魅了され、洞爺湖で「レイクトーヤランチ」をオープンし、その3年後には「ルスツランチ」を留寿都で開業しました。現在、その3カ所に拠点を置き、44頭の馬を所有しています。
一方、平成18年から洞爺湖温泉観光協会の理事に就任し、同26年には副会長となり、洞爺湖温泉の発展に力を注いでいます。

高橋さんは「洞爺湖の地域は、いろいろな人のいろいろなニーズに応えることができる場所、それをもっといかに、洞爺湖温泉の活性化につなげていきたい」と潜在的な可能性の高さを熱く語ります。
(秦野孝慎)

東奔西走

表紙を飾ったTOYAKOマンガ・アニメフェスタは、来場者過去最多の6万人を記録。私も昨年に続いて、コスプレをしながら楽しく取材しました。コスプレイヤーの方に話を聞くと、旭川市や釧路市から来ている方もいて、町の一大イベントだと実感しました。スタッフの皆さんお疲れ様でした。
(H・S)

今月のワンショット



華麗な音色を披露した
齋藤真知亜・律子ヴァイオリンコンサート
—洞爺湖芸術館—

人口と世帯の動き 5月31日現在 (先月比)

男	4,259 (△10)
女	4,879 (△25)
計	9,138 (△35)
世帯	4,985 世帯 (△16)